

がんばる企業のご紹介

藍染め製品の製作・販売やワークショップを開催している「紺屋のナミホ」。

創業のきっかけや、地元である「知多半島」へのこだわりなどについて、代表者の桑山 奈美帆さんにお話を伺いました。

Company Data

代表 桑山 奈美帆

業種 藍染め製品の製作・販売、ワークショップ

住所 常滑市奥条三丁目 200

ホームページ <https://konya-namiho.studio.site/>



知多半島の材料にこだわる「知多藍」

当社の事業内容は、藍染めを使用した衣類・雑貨等の製作と、藍染めを体験するワークショップの開催です。

衣類・雑貨等は、企業から依頼をいただいて製作するノベルティグッズなどのほか、自社製品も製作しています。企業からの依頼は年間 10 社程度で、これまでには風呂敷や T シャツなどを製作してきました。



自社製品については、工房やオンラインショップのほか、地元で開催されるマルシェで販売しています。現在力を入れているのは「すくすくすくも」という親子のための製品で、2023 年 2 月にブランドとしてリリースしました。化学染料を一切使用しておらず、染料にアレルギーのあるお子さんにも着ていただけると好評をいただいています。

藍染めを体験するワークショップは週 2 回程度の開催です。当社で用意した手ぬぐいやハンカチのほか、汚れて着られなくなった服などをお持ち込みいただいて染めることもで

きます。

当社の藍染めは、制作に必要な材料などを知多半島産のもので揃え、地元の特化していることが特徴です。そのため、当社で扱う藍染めは「知多藍」と名付けており、知多半島のお酒や灰を原料としているほか、布には知多木綿を使用し、染料は常滑焼の甕（かめ）で保管しています。

「染め」の文化を地元に残したい

私が「染め」に興味を持ったきっかけは、創業する以前に勤務していたアパレル会社で染め物に関わったことです。その際に、出身地である知多半島では江戸から明治頃に「染め」が盛んだったことを知り、「地元で染めの文化を復活させたい」という気持ちが芽生えました。家族の中に職人が多く、小さいころから職人への憧れがあったことも、創業を決めた理由の一つです。

創業するにあたって、藍染めを選んだのは、「染め」について勉強するために有松を訪れた際、天然の藍染めを営んでいる人が少なくなっていることを知ったからです。昔からあるもの、伝統的なものが無くなっていくのはもったいないと思い、この技術を残していきたいと感じました。

そこで、藍染めについて本格的に修行をしようと考え、「染め」について教えていただける師匠を探しましたが、藍染め職人の数が減っており、師匠探しは難航しました。そんな中、偶然訪れた岐阜県の郡上市で藍染めを教えていただけるお店を見つけることができました。そのお店で働きながら3年ほど修行したのちに独立し、2022年3月に知多半島に工房を構えることになりました。

工房を構えるにあたって大変だったことは、物件を探すことです。貸していただける物件がそもそも見つからなかったり、良い物件があっても家賃が高すぎたりと、条件に合う物件がなかなか見つかりませんでした。市役所などに相談し、ようやく見つけれられたのが現在の工房です。

しかし、自分が想定していたよりも広い物件だったため、工房として使用するための工事や設備の導入に係る費用が嵩み、借入をする必要がありました。その際に利用したのが、愛知県信用保証協会です。堅い組織というイメージを持っていましたが、最初の訪問時に親身になって話を聞いていただいたことが印象的でした。その後も女性経営者向けのイベントを紹介いただいたほか、愛知県信用保証協会が主催する「創業支援セミナー」の講師として登壇の機会をいただくなど、借入以外の場面でも関わりを持ち続けています。

「知多半島」＝「藍染め」というイメージを作りたい

当社には従業員はいませんが、年間5名ほどの研修生を迎えて藍染めを教えています。研

修生はインターネットで募集しているほか、口コミで知っていただいたかたもおり、現在は三重県・福島県・名古屋市から各1名の研修生が来てくれています。研修生に対しては約1か月の研修を行い、その後アルバイトで勤務してもらうこともあります。

私自身が藍染めを学ぶ環境を探すことに苦勞した経験から、自分の工房はオープンにしたいと考えており、自分が教えられることは全て教えるようにしています。「藍染めを学びたい」というかたを増やし、将来的にはのれん分けのような形で独立してほしいと思っています。そして、知多半島や近隣地域を藍染めの職人がいるエリアにして、「知多半島」＝「藍染め」というイメージを作っていくことが私の目標の一つです。

また、現在の工房周辺をもっと盛り上げていきたい、と考えています。当社の工房は、常滑市の中心市街地を歩く散策コース「常滑やきもの散歩道」のBコースに位置していますが、Aコースに比べると人通りが少ない状況です。近隣のお店や事業者のかたとお互いにお客様を紹介しあうなど、工房周辺の活性化にも取り組んでいきたいです。

「信念」と「やりたいこと」を大切に

私が経営にあたり大切にしていることは「信念を曲げないこと」、「自分のやりたいことを突き詰めていく」ことです。私の「信念」であり「やりたいこと」は、やはり知多半島を盛り上げることです。そのために、当社の「知多藍」には今後もこだわっていきたいと考えています。

事業以外でも知多半島原産のものをできるだけ使うことを心がけているほか、工房を訪れたかたなどを案内できるよう



知多半島についての情報収集を積極的に行っています。さらに、当社の事業以外にも、クラウドファンディングのプロデュースやイベントのお手伝いなど、知多半島の活性化に積極的に関わっていきたいです。

また、事業を始めたことで、地域のかたや知多半島で事業を行う経営者のかたとのつながりができました。当社の藍染め製品を地域の飲食店の装飾やのれん、エプロンなどで使ってもらったり、知多半島でのイベントや物産展などに呼んでいただけたりと、少しずつ「知多藍」の認知度が上がってきていると感じています。

これからも、知多半島にこだわり、知多半島にもっと人を呼べるような事業に成長していきたいです。